



インターネット通販を利用する際のチェックポイント



事例

【事例1】SNS上の広告で見つけた通販サイトでブランド物のジャケットを購入し、代金を指定口座に振り込んだ。商品は海外から発送されるようで、到着までに2週間かかると連絡があった。期日を過ぎて商品が届かず、事業者にもメールで問い合わせたが返信がない。

【事例2】インターネットでブランド名を検索し、公式サイトと思いスポーツシューズを購入した。数日後、どう見ても偽物と思われる商品が届いた。サイトに記載された住所は個人宅で、電話番号も携帯電話の番号だった。画面の作りが公式サイトとそっくりで勘違いさせられたようだ。



助言



インターネット通販で「商品が届かない」「偽物が届いた」といった詐欺・模倣品サイトによるトラブルが後を絶ちません。こうしたトラブルの場合、相手方が海外に所在する事業者であったり、連絡先が不明で、被害回復が困難なことも多く、トラブルを未然に防止することが重要です。

インターネット通販を利用する際は、以下の点に注意しましょう。

- 事業者の住所の記載がない。または住所の記載はあるが、場所を調べてみると田畑や個人宅になっている。
 - 事業者への連絡方法が、問い合わせフォームやフリーメールだけである。
 - 支払い方法が銀行振込のみになっている。
 - 日本語の字体、文章表現がおかしい。
 - 販売価格が大幅に割引されている。
 - 利用規約等におかしな記載・不当な記載がある。
 - サイト内のリンクが適切に機能しない。
 - サイトURLの表記が、ブランドの正式な英語表記と少しだけ異なるなど、おかしい。
 - サイト内の個人情報を入力する画面にSSL(情報を暗号化した通信方法)が、導入されていない。
- 詐欺・模倣品サイトかどうかを完全に見分けることは困難ですが、上記(右記)のチェックポイントを参考にして、少しでも不安を感じた場合は購入を控えましょう。